

NO. 28 「卒業生に素敵なプレゼント」

令和5年3月1日

今日から弥生3月、24節気の「啓蟄」も近づき、寒さで遅れていたフキノトウも日当たりのよい土手や田んぼの畦などに顔を出し始めました。

学校、子ども達にとっては、1年の締めくくり、そしてまとめの季節です。

とりわけ小学6年生は、小学生生活最後の大会卒業式が近づいてきました。

その小学校を卒業する皆さんに素敵なプレゼントを2月28日（火）に届けていただきました。贈り主は、子ども達が6年間使ったランドセルのリメイクを専門にされています光風台の「ルーラル」さん。ランドセルの革を使い「可愛いしおり」に仕上げ、社長の平田さんが教育委員会事務局に持ってきていただきました。



顔を出し始めたフキノトウ



卒業プレゼントの「しおり」を受け取っている所です

<このしおりを創る工程のお話をお聞きすると>

→熟練の革職人（11人）がすべて手作業で行っています

- ① ランドセルの縫い糸を外して平たくするのに約1時間半かかります
- ② 次に平たくした革を型枠でプレスをして色々な形にくり抜きます
- ③ 表の革と裏の革を張り合わせミシンで縫っていきます
- ④ 面取りをして仕上げます



「ルーラル」ホームページより

<立ち会った事務局職員も>

「使ってたランドセル探してみようかな。古いランドセルでも大丈夫ですか？」

→「時間が経っているものは、油をしみ込ませて柔らかくして平らにします。」

「テレビにも出演されてましたね。」

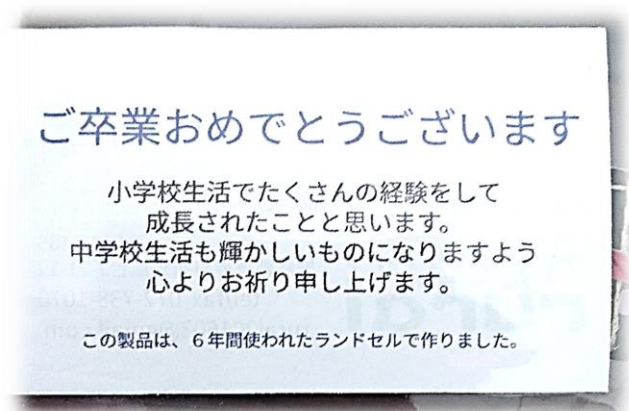
→「何社か取材を受けました。全国から注文が入ります。送って頂いたランドセルを希望される品に加工して、2週間から3ヶ月くらい時間をいただいて発送します。」

「どれ位使えるものですか？」

「本革で作った小物は、大事に使うと一生使えると思います。」



贈って頂いたランドセルで出来たしおり



裏には、「卒業おめでとう！」と書かれた色紙が入っていました

「卒業生のみんな、きっと大事にすると思います。本当に有難うございました！」

なお、平田さんのお子さんはだいぶ前に学校を卒業されていますが、豊能町子ども会育成会会長、大阪府子ども会育成連合会の副理事長もしていただいています。

また、ランドセルの余った革を使い小物を創って「豊能町ふるさと納税の返礼品」としても取り扱っていただいています。

色々とお世話になり有難うございます。